

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	02	農道整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業

実施計画整理番号	
501010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 農業者及び農道利用者に対して、幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進し、既存農道の適正な維持管理に努める。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 未舗装、未整備農道の舗装及び整備実施
令和元年度の具体的な目標 舗装進捗率:45.7%	令和元年度スケジュール ・補助金を活用した農道整備の事業進捗を図る。 【2路線、延長670m、面積1,750㎡を予定】

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,912	17,924	17,215	2,912	11,956	11,956	7,149	5,622	5,456	4,200	0	0
財源内訳	国補助	千円	1,456	0	0	1,456	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	1,456	1,452	0	2,805	2,805	3,200	2,436	2,370	2,100	0
	市債	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	800	800	2,800	2,100	2,100	1,800	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	456	15,468	14,763	456	8,351	8,351	1,149	1,086	986	300	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	農道の舗装新設	7,149	5,622	5,456	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		7,149	5,622	5,456	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・2路線の舗装工事、延長670m、面積1,488㎡を実施した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	02	農道整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業

整理番号
501010201

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
舗装工事、延長670m、面積1,488㎡を実施。	舗装進捗率:45.7%(0.2ポイント上昇)

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	農業者及び農道利用者の安心・安全の向上を図るため、公共事業にて施行する必要がある。	A:有効である	荷の傷み等の被害防止により、消費者ニーズに応じた高品質で安価な作物の供給が図れる。	B:やや効率的である	今後もコスト削減が図れるよう努める必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	地元説明及び自治会回覧	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見を反映している。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者と協議を実施している。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね目標は達成された。国の補助金を活用し整備しているが、補助金が削減され、また整備要望が多く、進捗が図れない状況である。今後は、制度改定により国の補助制度の活用が不透明である。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	農道の適正な維持管理に成果があったと認められる。引き続き、地元関係者等の要望を踏まえながら、適切な事業実施に努めていただいた。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
農道整備延長	舗装進捗率

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
農道整備の事業進捗を図る。 【2路線、延長370m、面積875㎡を予定】	舗装進捗率:45.8%

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	02	用排水施設整備事業

実施計画整理番号	
501010301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費の負担をする。
PLAN(計画)	
令和元年度の具体的な目標	
円滑な事業推進を図るため、千葉県及び地元水利組合等と協議を重ね早期完成に努める。	令和元年度スケジュール ・県営事業に対する事業費負担の実施 ・ため池等安全対策工事(2件) ・用排水路整備工事(1件) ・ため池整備工事(1件)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	47,682	43,395	36,475	29,280	46,353	44,489	68,525	112,997	70,462	49,132	0	0
財源内訳	国補助	千円	10,916	10,916	0	12,200	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	7,032	13,523	26,550	26,550	29,955	18,000	0
	市債	千円	15,700	15,700	0	9,600	7,800	16,200	31,000	31,000	30,600	16,200	0
	その他	千円	4,035	4,035	0	630	2,583	2,174	684	684	479	0	0
	一般財源	千円	17,031	12,744	36,475	6,850	28,938	12,592	10,291	54,763	9,428	14,932	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ため池等整備事業	20,657	8,516	7,354	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
②	用排水路整備事業	44,500	101,113	59,913	繰越工事もあり、目標通りの成果が得られなかった。今後も継続して取り組む必要がある。
③	かんがい排水事業(県営・団体営)【両総茂原南地区・両総茂原西部地区】	3,368	3,368	3,195	概ね目標は達成された。今後も早期完成に向け、関係機関と共同し取り組む必要がある。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		68,525	112,997	70,462	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
	・県営かんがい排水事業負担金(両総茂原南地区、両総茂原西部地区) ・ため池等安全対策工事(2件) ・用排水路整備工事(5件) ・ため池整備工事(1件)

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	02	用排水施設整備事業

整理番号
501010301

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業の整備促進を図るため、事業費負担を実施。 ・用排水施設整備工事(8件)を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業の整備促進を図るため、事業費負担を実施した。また、ため池及び用排水路の整備を実施することで安定した用水の供給、農業経営の安定が図れた。 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	農業用施設の安全性・効率性の向上を図るため、市が関与すべき事業である。	A:有効である	安定した用水の供給、農業経営が図れる。	B:やや効率的である	県営事業や国の交付金を活用することでコスト削減が図れる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	<ul style="list-style-type: none"> ・地元説明会 ・自治会回覧 	A:実現している	推進協議会等	B:実現に向けて取り組んでいる	地元水利組合や関係者と協議を実施している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね目標は達成された。課題として、農業用施設の整備には多額の費用を要することから、引き続き関係機関と協議し、予算確保に努める必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	受益農家の経営安定を図る目的に対して一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、関係機関との協議を実施するとともに、計画的な事業実施に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業に対する事業費負担 ・用排水施設整備の件数 		<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業の進捗率 ・用排水施設の整備率 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業に対する事業費負担の実施 ・用排水施設整備(3件) 		円滑な事業の推進を図るため、千葉県及び地元水利組合等と協議を重ね早期完成に努める。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

実施計画整理番号	
501010302	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 土地改良区・水利組合・自治会等の共同施行者が管理する農業用施設の維持管理費に対し、地元施行者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付する。
令和元年度の具体的な目標 農家の安定した農業経営と生活環境の保全を図る。	令和元年度スケジュール ・農道小用排水補助金の交付(随時) ・多面的機能支払交付金の交付(25組織) ・ため池水位調整管理補助金の交付(21件) ・排水機場維持管理補助金の交付(2件) ・維持管理適正化事業補助金の交付(3件)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	45,338	47,273	46,020	48,027	49,249	48,637	52,054	54,879	48,636	47,442	0	0
財源内訳	国補助	千円	18,559	18,559	0	20,420	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	9,279	9,279	27,834	10,210	29,010	28,740	28,299	28,299	24,280	28,299	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	1,038	0	2,320	2,083	2,808	2,808	14,838	0	0
	一般財源	千円	17,500	19,435	17,148	17,397	17,919	17,814	20,947	23,772	9,518	19,143	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	農道小用排水補助金の交付	2,705	5,558	5,558	目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
②	維持管理適正化事業補助金の交付	5,186	3,621	3,148	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
③	排水機場維持管理補助金の交付	2,227	3,233	3,132	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
④	ため池水位調整管理交付金の交付	920	920	920	目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
⑤	多面的機能支払交付金の交付	37,733	37,733	32,373	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
⑥	内谷川(東郷支線)水門等維持管理費	2,008	1,997	1,895	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
⑦	新川水門等維持管理費	143	154	85	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
⑧	農業用資材の支給	1,132	1,663	1,525	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
⑨					
⑩					
事業費計		52,054	54,879	48,636	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・農道小用排水補助金の交付(12件) ・内谷川(東郷支線)水門等維持管理費(草刈等)
- ・維持管理適正化事業補助金の交付(補助金1件) ・新川水門等維持管理費(2件)
- ・排水機場維持管理補助金の交付(2件) ・農業用資材の支給(19件)
- ・ため池水位調整管理交付金の交付(23箇所)
- ・多面的機能支払交付金の交付(25組織)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

整理番号
501010302

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	農業用施設の維持補修等に対し、補助金48,636千円を交付し、地元水利組合等の負担軽減を図った。		補助金の交付により、農業用施設の適正な維持管理を行った。 交付件数: 84件			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A: 妥当である	地元水利組合等が管理する農業用施設の維持管理費の負担軽減を図るため、市が関与すべき事業である。	B: やや有効である	安定した用水の供給、農業経営が図れる。	B: やや効率的である	老朽化施設の増加によるコスト増が予想される。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B: 実現に向けて取り組んでいる	説明会等で補助制度の周知	A: 実現している	地元水利組合や関係者の意見を反映している。	B: 実現に向けて取り組んでいる	地元水利組合や関係者と協議を実施している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね目標は達成された。今後も老朽化施設の増加に伴うコスト増が予想される。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね目標を達成していることから地元水利組合等の負担軽減及び農業基盤の安定等の目標は達成されたと判断できる。引き続き、地元関係機関と協議を重ねるとともに、農業用施設の維持管理のための適正な補助金の交付に努めている。いただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	補助金の交付件数		申請件数に対する交付率	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・農道小用排水補助金の交付(13件) ・排水機場維持管理補助金の交付(2件) ・ため池水位調整管理補助金の交付(23箇所) ・多面的機能支払交付金の交付(26組織) ・農業用資材の支給(7件) 		安定した農業経営と生活環境の保全を図る。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	農村地域防災減災事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	05	農村地域防災減災事業

実施計画整理番号	
501010303	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 農業生産の維持、農業経営の安定及び農用地のみではなく、地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを実施する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・清水地区排水機場の県営事業による事業化 ・ため池整備にかかる事業計画書の作成
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
事業化に向けた、清水地区排水機場の改修を再検討し、事業計画書等を作成する。 地域ため池の調査設計業務を発注する。	・清水地区排水機場の早期事業化に向け、関係機関と協議を進める。 ・ため池整備にかかる事業計画書の作成を完了する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	22,000	16,848	16,848	23,600	21,608	20,725	5,872	5,255	4,235	9,862	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	5,400	5,400	5,400	7,000	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	16,600	11,448	11,448	16,600	21,608	20,725	5,872	5,255	4,235	9,862	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	農村地域防災減災事業【清水地区】	1,890	1,273	825	概ね目標は達成され、今後も継続して取り組む必要がある。
②	農村地域防災減災事業【ため池整備事業】	3,982	3,982	3,410	概ね目標は達成され、今後も県営事業の採択に向け取り組む必要がある。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		5,872	5,255	4,235	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・ため池整備 計画概要書作成1式 ・ため池整備 取水口調査1式

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	01	03	農村地域防災減災事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	05	農村地域防災減災事業

整理番号
501010303

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	清水地区排水機場の事業化に向け関係機関との協議を実施した。		清水地区排水機場について、国からの事業計画の承認を得た。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	住民の暮らしの安全確保を図り、災害に強い農村づくりを実現するため公共事業にて施行する必要がある。	A:有効である	安定した農業経営や災害の未然防止を図る。	B:やや効率的である	県営事業で整備を実施することで負担軽減が図れる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	地元説明会	A:実現している	地元水利組合や関係者の意見を反映している。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元水利組合や関係者と協議を実施している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね目標通りの成果が得られた。引き続き、令和2年度の事業採択に向け、関係機関との連携を強化する必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね計画どおりに事業実施されていると認めることができる。引き続き、関係機関との連携強化を図るとともに適切な事業実施に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	清水地区排水機場の事業採択に向け、関係機関との連携の強化		清水地区排水機場の事業採択	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
清水地区排水機場の県営事業による事業化		清水地区排水機場の県営による事業採択に向け、事業計画の公告、同意取得を完了する。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	01	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

実施計画整理番号	
501020101	
総合戦略整理番号	12404

事務事業の概要	
<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>有害鳥獣による農作物被害、並びに生活環境の保全及び自然環境を保全するために、駆除や防除を行い、優良農地の保全を図る。捕獲した野生獣の毛皮などを使用した加工品などの副産物化を推進する。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>鳥獣被害対策協議会を設立し、負担金を交付することにより、捕獲や電気柵設置などの有害鳥獣対策を実施する。加工品などの副産物化について調査研究を実施する。</p>
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<p>有害鳥獣の駆除による農作物、農地被害の軽減に努め、優良農地の確保と地域環境の維持・保全を図る。また、有害鳥獣の捕獲・殺処分増加に伴う職員の負担軽減を図る。</p>	<p>協議会が委託する民間企業による捕獲業務を実施する。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	19,246	19,772	15,215	19,201	21,956	20,711	23,210	22,383	20,196	23,210	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	2,483	2,483	1,821	2,483	1,970	4,103	5,820	5,820	2,665	5,820	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	30	30	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	16,733	17,259	13,394	16,688	19,986	16,608	17,390	16,563	17,531	17,390	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	鳥獣被害防止対策協議会負担金	18,900	18,900	17,962	協議会による従事者委託により円滑に捕獲業務を遂行できた。イノシシ149頭捕、アライグマ399頭、ハクビシン77頭、シカ2頭、タヌキ46頭を捕獲した。今後も捕獲強化を図る。
②	野生獣防護柵設置事業	800	800	460	補助金を交付することで、電気柵652.55aを設置し被害軽減を図った。引き続き推進する。
③	イノシシ棲み家撲滅特別対策事業	3,510	2,683	1,774	イノシシの棲み家となる耕作放棄地等6.9haの草払いをすることで農村部からの追い払いを図った。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		23,210	22,383	20,196	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

民間企業及び猟友会等の従事者委託によって捕獲業務を実施したことで、農作物や農地被害の軽減につながっており、職員の作業負担も軽減されている。しかしながら、個体数は増加しているようで、生息域の拡大が見られ、新たな地区において被害が発生してきている。イノシシの棲み家となる耕作放棄地等の草払いをすることで農村部からの追い払いを図った。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	01	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

整理番号
501020101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 協議会による民間企業への委託によって、捕獲の実施及び捕獲用檻の増設により多くの有害鳥獣を捕獲した。 捕獲数(イノシシ149頭、アライグマ399頭、ハクビシン77頭、ニホンジカ2頭、タヌキ46頭)、わな設置数205基(イノシシ用98基、小動物用107基) 被害面積4.5ヘクタール(わかしお共済調べ)		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 民間企業への委託による捕獲で農作物や農地被害の軽減に繋がっている。職員の作業負担も軽減されている。 ・捕獲数 673頭(イノシシ149頭、アライグマ399頭、ハクビシン77頭、ニホンジカ2頭、タヌキ46頭) ・被害面積 4.5ヘクタール	
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 個体数が増加し、生息域が拡大していると考えられ、新たな地区においても被害が発生してきているため実施は妥当である。		有効性の評価とその理由 A:有効である 捕獲を実施することで、個体数増加の抑制、農作物や農地の被害を軽減できる。職員の作業負担も軽減できている。	
	効率性の評価とその理由 A:効率的である 民間の団体を活用した捕獲、被害多発地域に重点的に檻、わなを設置し捕獲している。		「情報の共有」の状況とその理由 A:実現している 檻設置をするうえでは地元自治会や農家組合等と調整をして実施している。	
	「参加」の状況とその理由 A:実現している 檻設置をするうえでは地元自治会や農家組合等と調整をして実施している。		「協働」の状況とその理由 A:実現している 檻設置、捕獲個体回収時等には地元自治会や農家組合等と立会いのもと実施している。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 民間団体への委託によって団体のノウハウを活用した捕獲業務を実施した。これにより農作物や農地被害の軽減につながっている。職員の作業負担も軽減されている。しかしながら、個体数が増加し、生息域が拡大していると見られ、新たな地区においても被害が発生してきている。			
	企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 各個別取組は、農作物被害の減少に寄与していると認めることができる。引き続き、地元関係者との協議により、適切な事業実施に努めることとする。			
	政策調整会議での評価とその理由 <div style="height: 50px;"></div>			
	庁議における方針 <div style="height: 50px;"></div>			

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・電気柵設置面積 ・捕獲用檻の設置個所数 ・耕作放棄地等の草払い面積		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 有害鳥獣による農作物被害額	
	令和2年度における具体的な目標 協議会が委託する民間企業による捕獲業務を実施する。		令和2年度における事務事業スケジュール 有害鳥獣の駆除による農作物、農地被害の軽減に努め、優良農地の確保と地域環境の維持・保全を図る。また、有害鳥獣の捕獲・殺処分増加に伴う職員の負担軽減を図る。	

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	02	農業経営基盤強化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業

実施計画整理番号	
501020201	
総合戦略整理番号	11204

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
農業振興地域整備計画に関する重要事項の協議をおこなう。 経営感覚の優れた農業者の育成と、経営規模の拡大、収益性の高い施設型農業への転換を支援する。 農地中間管理機構を利用して農地の集積・集約を推進する。 企業の農業分野への進出を支援する。	茂原市農業振興地域整備促進協議会を開催し整備計画を見直しする。 農業近代化資金利子補給金及び農業経営基盤強化資金利子補給金を交付する。 農地中間管理機構を利用した者に対して協力金を交付する。 企業の農業分野への進出について調査研究を行う。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
農業振興地域整備促進協議会を開催して重要事項の協議を行う。また、整備計画の全体見直しを実施し、計画を策定する。 利子補給は、平成30年度の貸付残高に対して利子補給を実施する。 農地中間管理機構による集積を推進し、担い手の集積を支援する。	農業振興地域整備計画の全体見直しを実施し、計画を策定する。 利子補給を実施して担い手の育成を図る。 農地中間管理機構による担い手への集積を推進する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,720	7,720	6,086	8,097	14,865	4,754	3,432	3,027	242	620	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	332	332	7	332	2,272	2,192	1,992	1,992	50	190	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,388	7,388	6,079	7,765	12,593	2,562	1,440	1,035	192	430	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市農業振興地域整備促進協議会の開催	171	171	72	農業振興地域整備計画の適切な運用のため、協議会を開催し、重要事項の協議を行った。
②	農業近代化資金資金利子補給事業補助金	324	324	120	農業近代化資金借入者への利子補給を実施。今後も継続して実施する。
③	茂原市農業経営基盤強化資金利子補給補助金	16	16	0	農業経営基盤強化資金借入者はH30年に完済した為、借入れ残高は無し。
④	茂原市機構集積協力金	2,921	2,516	50	貸付者1名、借受者2名に対し協力金を交付した。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		3,432	3,027	242	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
農業振興地域整備計画の適切な運用のため、協議会を開催し、重要事項の協議を行った。 農業近代化資金借入者への利子補給を実施した。 農地中間管理事業を利用した農業者に対し農地中間管理機構集積協力金を交付した。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	02	02	農業経営基盤強化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業

整理番号
501020201

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	農業振興地域整備促進協議会を開催した。担い手への利子補給9件、120,227円を利子補給した。農地中間の取組者3名に協力金50,000円を支給した。		農業振興地域整備促進協議会を開催し、現在県と協議中。利子補給9件120,227円により、担い手の負担軽減による営農の安定を図った。農地中間の協力金の支給により0.2haの集積を図った。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	農用地の保全、担い手の育成支援、農業経営基盤の強化は農業振興の基礎である。	A:有効である	農用地が適切に管理されている。担い手の営農意欲の維持拡大に繋がっている。	A:効率的である	協議会は関係者の意見聴取ができる。利子補給効果的にできる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	協議会で情報共有を図れる。取組状況を周知することで他の農業者も取り組み気運を醸成させる。	A:実現している	協議会は関係者の参加により実施。利子補給農業者自らの取り組みを支援するものである。	A:実現している	協議会は関係者の参加により実施。利子補給は農業者自らの取り組みを支援するものである。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	農業振興地域整備促進協議会を開催して重要事項の協議を行うことができた。利子補給により農業経営を支えることができた。					
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	農地の集積・集約を図る取組を実施することにより、事業の目的に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、営農の安定を図るため、適正な事業実施に努めるものとする。					
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画見直しの県協議を終え、取りまとめる。 ・利子補給実施件数 ・機構集積協力金支給件数 		<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画の全体見直しにより農地の確保を図る。 ・営農の安定が図られた担い手数 ・集積面積及び件数 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
農業振興地域整備促進協議会を開催して重要事項の協議を行う。また、整備計画の全体見直しを実施し、計画を策定する。利子補給は、令和元年度の貸付残高に対して利子補給を実施する。農地中間管理機構による集積を推進し、担い手の集積を支援する。		農業振興地域整備計画の全体見直しを実施し、計画を策定する。利子補給を実施して担い手の育成を図る。農地中間管理機構による担い手への集積を推進する。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	02	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

実施計画整理番号	
501030201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施することで農作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 産業用無人ヘリコプターによる病害虫防除を実施する。農家負担額を長生郡内で同一水準にするよう補助金を交付する。
令和元年度の具体的な目標 農作業の省力化を図るとともに良質の米の生産を維持する。	令和元年度スケジュール 茂原市植物防疫協会が実施主体となり、水稻病害虫防除の実施あたって、農家組合長会議を開催する。7月17日～19日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内600ヘクタールに実施し、いもち病、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類の防除を行う。その後、負担金の徴収事務を実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,260	2,260	2,260	2,277	2,226	2,226	2,256	2,256	2,256	2,274	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,260	2,260	2,260	2,277	2,226	2,226	2,256	2,256	2,256	2,274	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市植物防疫協会の運営支援	201	201	201	事業実施に必要な電算システム委託などの事務経費に対して補助を行った。今後も継続して実施する。
②	茂原市広域航空防除事業補助金	2,055	2,055	2,055	事業実施に必要な農薬代、散布費用、作業手当などの経費に対して補助を行った。今後も継続して実施する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,256	2,256	2,256	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・水稻病害虫防除は、茂原市植物防疫協会が実施主体となり、実施するにあたっての農家組合長会議を開催した。
- ・7月17日～19日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内581ヘクタールに実施し、いもち病、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類の防除を行い、良好な結果を得ることができた。
- ・負担金の徴収事務を実施した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	02	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

整理番号
501030201

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 散布面積 581ヘクタール	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 病害虫の発生なく生産した面積 581ヘクタール												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:妥当である</td> <td style="width: 35%;">病害虫の発生を防止し良質な米を生産するために、確実性、安全性に配慮して実施している。</td> <td style="width: 15%;">A:有効である</td> <td style="width: 35%;">病害虫の発生を防止し良質な米を生産できている。</td> <td style="width: 15%;">A:効率的である</td> <td style="width: 35%;">3日間での一斉防除により効率的に病害虫を防除できている。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A:妥当である	病害虫の発生を防止し良質な米を生産するために、確実性、安全性に配慮して実施している。	A:有効である	病害虫の発生を防止し良質な米を生産できている。	A:効率的である	3日間での一斉防除により効率的に病害虫を防除できている。
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由									
A:妥当である	病害虫の発生を防止し良質な米を生産するために、確実性、安全性に配慮して実施している。	A:有効である	病害虫の発生を防止し良質な米を生産できている。	A:効率的である	3日間での一斉防除により効率的に病害虫を防除できている。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:実現している</td> <td style="width: 35%;">農家には農家組合長を通じて周知、市民には広報やチラシにより周知している。</td> <td style="width: 15%;">A:実現している</td> <td style="width: 35%;">農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。</td> <td style="width: 15%;">A:実現している</td> <td style="width: 35%;">農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。</td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		A:実現している	農家には農家組合長を通じて周知、市民には広報やチラシにより周知している。	A:実現している	農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。	A:実現している	農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由									
A:実現している	農家には農家組合長を通じて周知、市民には広報やチラシにより周知している。	A:実現している	農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。	A:実現している	農家組合長において申込書等の取りまとめ、散布作業の人員動員を実施している。								
所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 米の価格が不安定な情勢の中において、良質な米の生産及び収量の確保は重要であり、病害虫を防除することは必須である。共同防除を実施することで、短期間に一斉防除が行えるため効果的・効率的である。また、農業者の作業負担も軽減できる。課題としては、農家が負担する散布料が近隣町村と比較すると高いので、農家の経済的負担を軽減するためには近隣町村と同水準の負担額にすることが望ましい。													
企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 本事業は米の安定的な収穫と品質の向上に寄与すると認められるものである。引き続き、円滑な事業実施のために関係機関と連携するとともに、農作業の省力化による農業者の作業負担軽減に努めていただきたい。													
政策調整会議での評価とその理由 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>													
庁議における方針 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>													

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 産業用無人ヘリコプターによる農薬散布面積	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 農薬散布面積のうち病害虫の発生なく生産した面積
令和2年度における具体的な目標 茂原市植物防疫協会が実施主体となり、水稻病害虫防除の実施あたって、農家組合長会議を開催する。7月20日～22日に産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を市内600ヘクタールに実施し、いもち病、カメムシ類、ウンカ・ヨコバイ類の防除を行う。その後、負担金の徴収事務を実施する。	令和2年度における事務事業スケジュール 農作業の省力化を図るとともに良質な米の生産を維持する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	03	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

実施計画整理番号	
501030301	
総合戦略整理番号	12401

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	新規就農者には技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、国の新規就農総合支援事業を活用し、農業次世代人材投資資金の交付を行い、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	農業次世代人材投資資金を交付する。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
	交付金事業を活用して新規就農者の確保・育成を図り、農業従事者の高齢化、後継者不足を解消する。	農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、7名に対して交付予定。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,500	5,125	3,981	4,500	10,500	6,000	9,000	9,000	7,788	9,000	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	4,500	4,500	3,356	4,500	10,500	6,000	9,000	9,000	7,788	9,000	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	625	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	625	0	0	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市農業次世代人材投資資金	9,000	9,000	7,788	新規就農者7名に交付を行った。引き続き新規青年就農者を支援し、経営の安定と定着を図る。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		9,000	9,000	7,788	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

・農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、7名に対して交付金を交付した。

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	03	03	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

整理番号
501030301

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	新規就農者7名に対し778.8万円の交付を行った。		新規就農者の経営が不安定な就農直後5年以内の技術の習得や所得の確保を図ることができた。(対象者7名)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	新規就農者を定着させるため国の交付金制度に沿った交付を行っている。	A:有効である	新規就農者の経営安定と定着を図るため有効な事業である。	A:効率的である	新規就農者に使い道を定めない交付金は、営農活動を継続する上で効率的である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	新規就農者に営農継続に資する情報を提供するとともに、就農状況を現地確認を行うなど逐次把握している。	A:実現している	新規就農者に営農継続に資する情報を提供するとともに、就農状況を現地確認を行うなど逐次把握している。	A:実現している	新規就農者に営農継続に資する情報を提供するとともに、就農状況を現地確認を行うなど逐次把握している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっているなかで、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、7名に対して交付金を交付した。これにより新規就農者の営農継続を支援することができた。課題としては、本市の農業振興を図るためには新規就農者を増やしていかなければならないことから更なる対象者の掘り起こしが必要である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	新規就農者の営農継続支援に資すると認められる。引き続き、農業従事者の高齢化及び後継者不足の解消を図るために適正な実施に努めることとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						
ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	交付金の交付額		交付を受けた新規就農者			
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール				
農業従事者の高齢化が進むなか、新規就農者の技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、経営が不安定な就農直後5年以内の所得の確保を図るため、8名に対して交付予定。		交付金事業を活用して新規就農者の確保・育成を図り、農業従事者の高齢化、後継者不足を解消する。				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	01	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

実施計画整理番号	
501040101	
総合戦略整理番号	12401

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>茂原市地域農業再生協議会及び農業者に対して、新規需要米の作付けなど需要に応じた米の生産や、転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組を推進し、農業の経営改善を目指す。</p>	<p>茂原市地域農業再生協議会に需要に応じた米の生産や転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組推進・確認のための事務経費の補助、取組を実施した農業者には対象となる経費の補助を行う。新規需要米に取組む生産者に対し補助金を交付する。</p>
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<p>飼料用米等拡大支援事業の申請実績、飼料用米等の作付実績、経営所得安定対策等交付金の交付申請実績</p>	<p>飼料用米等の転作作物の取り組み者を支援し、生産拡大を図るとともに、農家組合と連携し、需給調整等に関する情報を周知する。また、各種補助事業や経営所得安定対策を推進するため、農家への周知や確認事務等を円滑に実施する。</p>	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	13,883	14,682	9,804	13,883	19,829	17,310	15,190	15,017	10,466	16,619	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	8,939	8,939	4,071	8,939	10,441	7,466	7,976	7,976	4,989	9,400	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,944	3,743	3,733	2,944	9,388	9,844	7,214	7,041	5,477	7,219	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市飼料用米等拡大支援事業補助金	2,875	2,875	1,722	飼料用米等の作付けを実施した農業者に対し支援を実施した。今後も継続的に支援を実施する。
②	茂原市経営所得安定対策等推進事業費交付金	1,363	1,363	1,258	経営所得安定対策の推進活動を円滑に実施した。今後も継続的に実施する。
③	産業委員委託	892	892	890	農家組合との連携が図れた。今後も、連携を図る。
④	茂原市新規需要米推進事業補助金	5,000	5,000	3,451	新規需要米を推進し、36名の農業者を支援した。今後も引き続き推進し、取組者を支援する。
⑤	飼料用米・加工用米等流通加速化事業補助金	1,394	1,394	0	今年度は取り組みがなかった。今後も飼料用米等の生産拡大が必要のため、支援を実施する。
⑥	茂原市農産産地支援事業補助金	3,666	3,493	3,145	農業者1名に対し、大型機械・省力化機械の導入を支援した。今後も引き続き、施設整備や機械等を支援する。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		15,190	15,017	10,466	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・飼料用米等の転作作物の作付け者に補助金を交付し、転作の取り組みに対し支援した。
- ・農家組合と連携して、需要に応じた生産が行われるよう情報等の周知を図った。
- ・経営所得安定対策を推進するための農家への周知や確認事務を円滑に実施した。
- ・営農組織に対し、大型機械の導入を支援し効率化を図った。

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	01	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

整理番号
501040101

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
飼料用米等拡大支援のため、パンフレットの配布や集落等への説明会を実施し、農家組合との連携を図った。農家組合長会議等において経営所得安定対策を推進した。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">飼料用米等拡大支援事業申請件数</td> <td style="text-align: right;">36件</td> </tr> <tr> <td>飼料用米等作付面積</td> <td style="text-align: right;">69ha</td> </tr> <tr> <td>経営所得安定対策等交付金申請件数</td> <td style="text-align: right;">45件</td> </tr> </table>	飼料用米等拡大支援事業申請件数	36件	飼料用米等作付面積	69ha	経営所得安定対策等交付金申請件数	45件
飼料用米等拡大支援事業申請件数	36件						
飼料用米等作付面積	69ha						
経営所得安定対策等交付金申請件数	45件						

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	国、県が施策として実施する需要に応じた米生産や経営所得安定対策の推進事業である。	A:有効である	農業をとりまく社会経済情勢の変化に応じた支援事業の展開であり有効である。	A:効率的である	国が実施する事業であり、市も適切に実施している。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	各種会議や回覧により農家組合との連携を図り情報の共有を図っている。	A:実現している	関係機関等からなる茂原市地域農業再生協議会による協議を行っている。需給調整の実施者は農業者である。	A:実現している	関係機関等からなる茂原市地域農業再生協議会による協議を行っている。需給調整の実施者は農業者である。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	主食用米の価格安定と食糧自給率の向上を図るためには、米の需給調整は重要な要素であり、飼料用米等の取り組みを支援することで、生産の推進が図れた。農家組合と連携して需給調整等に関する情報を周知することができた。県の補助事業によって経営所得安定対策を推進するための農家への周知や確認事務等を適切に実施できた。飼料用米の作付けが拡大したことで、米価の安定に繋がるかは不透明な部分も多いが、本市の土地質としての転作作物としては飼料用米等の作付けを更に推進する選択肢が有効であると考えられるため、今後も推進するためには上乗せ給付や農業機械導入の補助などを検討しなくてはならない。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	本事業は、主食用米の価格安定と食糧自給率の向上に寄与したと認められる。引き続き、関係機関との連携を図りながら、需要に応じた米の生産を推進し、農業の経営改善に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・飼料用米等拡大支援のための周知、パンフレット配布数、説明会、広報等 ・経営所得安定対策等の会議開催数 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料用米等拡大支援事業の申請件数 ・主食用米からの転作面積 ・経営所得安定対策等交付金の交付申請件数

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
飼料用米等拡大支援事業の申請実績、飼料用米等の作付実績、経営所得安定対策等交付金の交付申請実績	飼料用米等の転作作物の取り組み者を支援し、生産拡大を図るとともに、農家組合と連携し、需給調整等に関する情報を周知する。また、各種補助事業や経営所得安定対策を推進するため、農家への周知や確認事務等を円滑に実施する。

CHECK(評価)

ACT(改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	04	園芸農産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業

実施計画整理番号	
501040401	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
<p>良質な農産物を生産するためには機械化による生産の効率化が必須となっている。また、現在使用している機械の老朽化も激しく、各生産組合の生産者は高齢化も進んでいる。各組合を支援して産地間競争を制する産地化を目指す。農業活動において排出される廃プラスチックの適正な処理を推進する。</p>	<p>各生産組合が実施する施設設置や機械導入、農業振興事業に対して補助金を交付する。 茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する適正な廃プラスチック処理に対し補助金を交付する。</p>
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<p>生産管理機械、ネギの省力化機械を導入し、産地強化を図る。市場シェアの回復を目指す。</p>	<p>園芸6団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援する。市産業まつりへの出店など園芸振興のための活動を支援する。園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図る。「ちばの園芸」の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援する。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,340	2,340	972	2,340	27,183	26,185	2,524	2,524	1,766	1,607	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	1,357	1,357	71	1,357	25,378	24,592	771	771	85	771	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	163	163	163	163	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	820	820	738	820	1,805	1,593	1,753	1,753	1,681	836	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業補助金	624	624	0	事業採択がされなかった為、実施できず。今後は県と連絡を密にし、事業採択の情報を細かく聞き取り、園芸農業者への支援を継続する。
②	茂原市園芸農産特産地育成事業補助金	1,090	1,090	1,085	園芸団体の機械化等の取り組みを支援した。産地強化のため支援を継続する。
③	茂原市農業関係団体補助金	400	400	400	園芸振興のための活動を支援した。園芸振興を継続して実施する。
④	園芸用廃プラスチック適正処理対策事業補助金	310	310	181	園芸用廃プラスチックの適正な処理を、県補助事業に基づき実施。産業廃棄物の適正な処理を継続する。
⑤	研修負担金	100	100	100	研修により園芸振興や産地強化を図る。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,524	2,524	1,766	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・園芸4団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援した。
- ・園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図った。
- ・園芸農業の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	04	園芸農産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業

整理番号
501040401

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	園芸4団体の機械化の取り組みを支援した。園芸振興として産業まつりへの参加活動を支援した。園芸用廃プラスチックの適正処理の支援を行った。		茂原蔬菜出荷組合、本納施設野菜組合、本納いちご生産組合、椎茸組合の機械化に108.5万円を補助し産地強化を図った。園芸用廃プラスチックの適切な処理(8.51トン処理)により環境保全と施設園芸などの健全な発展を図った。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	産地強化を図るうえでは機械化等の取り組みは必要不可欠である。	A:有効である	意欲のある園芸生産団体を支援することは農業振興を図るうえでは有効である。	A:効率的である	機械化等の取り組みは効率的な生産を図ることができる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	理事会、総会、各打ち合わせにより生産者の意見、行政からの情報、園芸情勢の情報を共有している。	A:実現している	理事会、総会、各打ち合わせにより生産者の意見、行政からの情報、園芸情勢の情報を活用して生産に取り組んでいる。	その他	令和元年度については、台風21号に伴う大雨により産業まつり及びふるさと塾については中止となった。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	園芸4団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援することができた。園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図ることができた。課題としては、収益性の高い園芸農産の推進のため、常に進化している生産用施設・省力化機械の更なる導入が必要である。				
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	園芸4団体の機械化の取り組みを支援し、園芸用廃プラスチックの適正処理を促進することで、産地強化及び環境保全に一定の成果があったと認めることができる。今後も、園芸農業の機械化による生産力拡大を図るための支援に努めていきたい。					
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	各園芸農産振興事業への補助金の交付		<ul style="list-style-type: none"> ・導入された機械等による生産性の向上 ・廃プラスチックの適正処理 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
園芸4団体の産地強化のための機械化の取り組みを支援する。市産業まつりへの出店など園芸振興のための活動を支援する。園芸用廃プラスチックの円滑な回収と適正な処理を行うことで環境保全と施設園芸などの健全な発展を図る。「ちばの園芸」の生産力を強化拡大することを目的に県の補助事業を活用して省力機械等の導入を支援する。		生産管理機械、ネギの省力化機械を導入し、産地強化を図る。市場シェアの回復を目指す。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	06	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

実施計画整理番号	
501040601	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 畜産の振興を図るとともに、家畜伝染病に対する自主的な防疫活動を推進して畜産経営の安定を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 自衛防疫の一環である予防接種費用に対する補助を行う。 畜産団体の運営に対する補助を行う。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
家畜伝染病の防疫活動を支援し、畜産経営の安定を図る。	・家畜伝染病を未然に防止するため、予防接種を実施する。 ・茂原市酪農組合における乳牛共進会の参加を支援する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	175	175	171	175	155	155	161	161	161	132	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	175	175	171	175	155	155	161	161	161	132	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市家畜伝染病予防会の支援	129	129	129	牛アカバネ病、牛三種混合、牛ヨネネ病の予防接種に対し支援を行った。今後も継続して取り組む必要がある。
②	茂原市酪農組合の支援	28	28	28	家畜排せつ物の管理の適正化、利用促進の振興、乳牛共進会等の事業に対する支援を実施した。今後も継続して取り組む必要がある。
③	長生郡市乳牛共進会	4	4	4	茂原市酪農組合における乳牛共進会への参加の支援を行った。今後も継続して取り組む必要がある。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		161	161	161	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・牛アカバネ病、牛三種混合の予防接種を実施し、家畜伝染病の防疫活動に努めた。
- ・茂原市酪農組合における乳牛共進会の参加を支援し、酪農振興を図った。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	06	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

整理番号
501040601

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	牛アカバネ病62頭、牛三種混合23頭、牛ヨーネ病209頭の予防接種に対し支援を行った。茂原市酪農組合の会議を1回開催した。		予防接種や自主防疫等の実施により市内において家畜伝染病の発生は確認されなかった。茂原市酪農組合から乳牛共進会への出展はなかった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	防疫活動は畜産振興を図る上で必要不可欠であり、市が関与すべき事業である。	A:有効である	家畜伝染病を未然に防止することで安定した畜産経営が図れる。	A:効率的である	予防接種の実施により、家畜伝染病を未然に防ぐことができる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	長生地域畜産振興協議会において情報の共有を図っている。	A:実現している	畜産農家や関係機関と協議を実施している。	B:実現に向けて取り組んでいる	長生地域全体で、畜産振興・防疫活動を実施している。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	防疫活動により家畜伝染病の発生は確認されず、概ね目標は達成された。課題としては、畜産農家の減少に対応するため、畜産振興事業の拡大や家畜伝染病の発生に備えた防除体制の確立する必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	本事業は、家畜伝染病の発生は確認されていないことから、成果を挙げていると認めることができる。引き続き、防疫活動を推進することで畜産経営の安定に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	家畜伝染病に対する予防接種の実施頭数 茂原市酪農組合の会議開催数		家畜伝染病発生数 乳牛共進会の参加頭数	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病を未然に防止するため、予防接種を実施する。 ・茂原市酪農組合における乳牛共進会の参加を支援する。 		家畜伝染病の防疫活動を支援し、畜産経営の安定を図る。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	07	環境にやさしい農業推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	12	環境にやさしい農業推進事業

実施計画整理番号	
501040701	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
農業の持続的発展を図るためエコファーマーの認定促進や有機農業などの環境にやさしい農業を推進する。また、環境負荷の軽減に配慮した営農活動に取り組む農業者団体等の追加的コストを支援し、環境にやさしい農業の推進を図る。	自然環境の保全に資する農業生産活動を実施する生産者や農業者団体に補助金(交付金)を交付する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みと併せて行うカバークロープの作付により環境にやさしい農業を維持する。	化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みと併せて行うカバークロープの作付により環境にやさしい農業を実践する農業者団体に対して支援する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	294	294	87	320	349	114	143	143	114	143	0	0
財源内訳	国補助	千円	147	147	0	160	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	73	73	65	80	261	85	106	106	85	106	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	74	74	22	80	88	29	37	37	29	37	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	環境保全型農業直接支払交付金	143	143	114	化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みにカバークロープを組み合わせた取り組みに支援した。今後も対象者に対し支援する。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		143	143	114	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みにカバークロープを組み合わせた取り組みに支援した。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	07	環境にやさしい農業推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	12	環境にやさしい農業推進事業

整理番号
501040701

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	環境農業直接支払は農業者団体1団体に対して支援した。		農業者団体1団体の環境にやさしい農業を実施した。 面積: 1.4ha			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	環境直接支払は環境にやさしい農業の基礎である。	A:有効である	環境と調和した農業は必要である。	A:効率的である	環境直接支払については、環境にやさしい農業が効率的にできる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	取り組み状況を周知することでほかの農業者も取り組み気運を醸成させる。	A:実現している	環境直接支払は農業者自らの取組みを支援するものである。	A:実現している	環境直接支払は農業者自らの取組みを支援するものである。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	環境保全型農業直接支払により、農業での実践を支援し自然環境の負荷軽減を図った。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	本事業は自然環境の保全に一定の成果を挙げていると認めることができる。今後は、取組をより一層周知することでほかの農業者の気運の醸成を図り、環境にやさしい農業の推進に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・支援件数		・カバークロープ取組み面積	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みと併せて行うカバークロープの作付により環境にやさしい農業を維持する。		化学肥料と化学合成農薬を軽減する取り組みと併せて行うカバークロープの作付により環境にやさしい農業を実践する農業者団体に対して支援する。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	08	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

実施計画整理番号	
501040801	
総合戦略整理番号	32104

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 茂原六斎市再活性化協議会が実施する様々な活動やイベント等により、歴史ある茂原六斎市の再活性化を図る。 農業者による新鮮野菜等の新たな販路となることで農畜生産を豊かなものにする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 茂原六斎市再活性化協議会の実施する活動を推進するため補助金を交付する。
令和元年度の具体的な目標 ・イベントの開催により六斎市を活性化する。 ・出店者の加入促進をする。	令和元年度スケジュール ・イベント開催会議などを開催し、歴史ある六斎市の活性化を図る。 ・イベントの開催。 ・新規出店者の加入促進。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原六斎市再活性化事業補助金	150	150	150	イベントを開催し活性化を図った。今後も支援を継続する。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		150	150	150	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・関係団体との共催でイベントを開催した。 ・広報等に掲載して、出店者を募集した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	04	08	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

整理番号
501040801

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	イベント開催数 1回		イベント時の出店増加数 17店舗			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	歴史ある六斎市の衰退に歯止めをかけ、生産者と消費者の交流の場を確保することが出来るため有効である。	A:有効である	生産者と消費者の交流の場を確保することが出来るため有効である。	A:効率的である	再活性化が図れるため、効率的である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	広報、チラシ等による情報の共有が出来ている。	A:実現している	生産者と消費者(市民等)が直接交流出来ている。	A:実現している	生産者と消費者(市民等)が直接交流し、問題等の解決に取り組んでいる。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との共催でイベントを開催。生産者と消費者(市民等)の交流を図った。 広報等に掲載し出店者を募集したところ、イベント時の出店数が増加した。 				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	本事業は茂原六斎市の再活性化に一定の成果を挙げたものと認めることができる。引き続き、工夫しながら出店者・イベント等の周知を図るとともに、関係団体及び市民等との協働による活性化に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・イベント開催数		・イベント時の出店増加数	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> イベント開催会議などを開催し、歴史ある六斎市の活性化を図る。 イベントの開催。 新規出店者の加入促進。 		<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催により六斎市を活性化する。 出店者の加入促進をする。 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	01	05	01	農産物直売所運営支援費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費

実施計画整理番号	
501050101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
消費者に地元で収穫された新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の充実を図る。 併せて、直売所の需要に合わせた少量多品種の農作物生産を推進することで、生産者の所得安定と農業振興を図る。	安定的な農作物の供給を図るため、直売所の適切な維持管理に努める。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
新店舗と合わせて継続して用地を借り上げることにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営を行う。	通年で安全・安心な農産物を消費者に供給する。本市農業の活性化の拠点としての役割を担う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	784	784	784	2,084	3,487	3,472	2,292	2,600	2,600	1,978	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	686	686	686	686	1,971	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	0	0
	一般財源	千円	98	98	98	1,398	1,516	1,514	334	642	642	20	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	直売所土地借上料	1,958	1,958	1,958	用地を借り上げることで、直売所の安定した運営ができた。今後も地産地消を進め、農業振興を図る。
②	研修負担金	20	33	33	生産者、消費者のニーズ等を把握し、農業振興・地産地消及び直売所の安定運営を図る。
③	農産物直売所施設設備工事	314	609	609	多機能トイレ内おむつ交換台の設置し、施設の利便性を図った。また、冷蔵庫の室外機を移設し、近隣への騒音軽減を図った。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,292	2,600	2,600	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

・直売所施設用地を借り上げることにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営ができ、併せて地産地消の推進を図った。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	501050101
5	01	05	01	農産物直売所運営支援費	5	01	03	07	農産物直売所運営支援費	

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
借上げ地 茂原市法目807-1 面積 1,527㎡ 731,585円/年 茂原市法目920 面積 2,559㎡ 1,226,016円/年	直売所の売上げ額 2億4,276万円 来客数 18.54万人 組合員数 209名

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	生産者、消費者のニーズとして直売所の設置は必要であり、これにより農業振興が図られる。	A:有効である	新鮮で安全・安心な農産物を供給する直売所の設置は、農業振興を図る手段として有効である。	A:効率的である	多数の生産者が加入している直売所を支援することは、効率的である。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	直売所の運営会議において、生産動向や行政情報などの連携を図っている。	A:実現している	直売所だけでなく、市の各種イベントにも出店し、地産地消や農業振興を図っている。	A:実現している	直売所だけでなく、市の各種イベントにも出店し、地産地消や農業振興を図っている。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	直売所施設用地を借り上げるにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営ができ、併せて地産地消の推進を図った。また、新商品開発委員が開発した「葱ッペ餃子」が第5回全国ふるさと甲子園で、「惣菜・おつまみ・その他部門」全国1位となり、ねぎぼうずと茂原市を広くPRすることができた。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	用地借上げなどにより直売所の運営を支援することで直売所の安定した運営に寄与した事業と認められる。引き続き、直売所の適切な維持管理を促進し農業の活性化を図るとともに、ねぎぼうずひいては茂原市のPRIにつながるよう努められたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
借上げ地代・土地面積	直売所の売上げ額、来客数、組合員数

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
新店舗と合わせて継続して用地を借り上げるにより、新鮮で安全・安心な農作物を消費者に供給する直売所の安定した運営を行う。	通年で安全・安心な農産物を消費者に供給する。本市農業の活性化の拠点としての役割を担う。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	01	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	06	企業立地促進事業

実施計画整理番号	
502020101	
総合戦略 整理番号	11101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原には工業団地を核とした企業立地を促進し、本市における就業機 会の拡大、定住人口の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致活動に有効な企業データを早期に取得し、企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。 進出した指定事業者に対し奨励金を交付する。 茂原には工業団地の早期分譲を目指し整備を推進する。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 立地希望企業に関する情報収集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	704,135	861,863	851,205	201,048	200,673	200,644	463	373	354	463	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	331,500	331,500	460,900	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	372,635	530,363	390,305	201,048	200,673	200,644	463	373	354	463	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	積極的な企業誘致活動の展開	463	373	354	企業訪問や千葉県主催の企業誘致セミナーへの参加により、情報収集に努めた。引き続き、本市への企業誘致を実施していく。
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
⑩						
事業費計			463	373	354	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問や千葉県主催の企業誘致セミナーへの参加による情報収集を行った。 	

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	01	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	06	企業立地促進事業

整理番号
502020101

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 企業訪問を積極的に行った。	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 企業立地を促進するための情報収集に努めた。
---	--

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	雇用の確保は重要な施策であり、総合計画においても企業誘致の推進が位置付けられていることから妥当である。	A:有効である	企業誘致により、雇用の場の確保、定住人口の増加が図られることから有効である。	A:効率的である	企業誘致のための情報収集としての費用であることから効率的である。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
その他	企業誘致の段階では情報の共有は図れないが、企業誘致の結果については広く情報の共有を図っていく。	C:実現の余地がない	企業誘致は企業固有の情報に関わるため、市民等の参加は図れない。	C:実現の余地がない	企業誘致は企業固有の情報に関わるため、市民等と協働は図れない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	誘致に関する企業情報の収集は行うことができた。今後は、立地希望企業への空き公共施設の跡地利用を含めた立地候補地についての情報提供が課題となってくる。

企画政策課での評価とその理由	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	企業誘致活動に有効な積極的な情報収集は、本市への企業誘致へ一定の成果があると考えられ、今後も継続して実施すべきと認められる。引き続き、企業立地による就業機会の拡大、ひいては定住人口の増加に寄与するため、企業ニーズを的確な把握に取り組んでいただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・情報収集した立地希望企業数	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 ・企業誘致件数
--	------------------------------------

令和2年度における具体的な目標 ・立地希望企業に関する情報収集。	令和2年度における事務事業スケジュール ・企業訪問(随時) ・企業誘致セミナーへの参加(年2月)
---	--

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	02	起業・創業支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	起業・創業支援事業

実施計画整理番号	
502020201	
総合戦略整理番号	11201

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
PLAN (計画) 起業者を支援することで本市における開業率を向上させ、地域の活性化、雇用の確保を図る。	新たに起業を目指す起業者に対し、創業しやすい環境を整備するとともに、補助金の交付により費用負担の軽減を図る。 特定創業支援等事業としての、起業者及び創業後間もない事業者を対象とした、創業するために不可欠な事項を修得できるセミナーの開催を支援する。
	令和元年度の具体的な目標
<ul style="list-style-type: none"> 新規起業者を対象に、創業に係る経費の一部を補助。 起業に関する実践的な知識の習得の場を提供。 同じ志を持つ仲間との情報交換の場やネットワークづくりの場を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に対して補助金を交付。 茂原商工会議所を連携して「茂原創業塾」及び「起業家交流会」を開催。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,507	2,259	1,851	2,357	3,107	1,500	2,157	2,150	2,080	2,157	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,507	2,259	1,851	2,357	3,107	1,500	2,157	2,150	2,080	2,157	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	起業支援セミナーの開催支援	800	800	765	茂原商工会議所が開催した創業塾を支援した。今後も継続していく。
②	起業・創業希望者の交流会開催支援	150	150	150	茂原商工会議所が開催した起業家交流会を支援した。今後も継続していく。
③	起業・創業時の経済的負担の軽減	1,200	1,200	1,165	創業支援補助金を6件交付した。今後も継続していく。
④	創業支援充実のための研修会等への参加	7	0	0	実績なし。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,157	2,150	2,080	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 茂原商工会議所と協力し、「茂原創業塾」及び「ビジネスプランコンテスト、起業家交流会」を開催した。 創業しようとする方に対し、創業に必要な経費を補助した。

PLAN (計画)

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	02	起業・創業支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	起業・創業支援事業

整理番号
502020201

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・茂原商工会議所が開催した創業塾及び起業家交流会を支援した。 ・新規創業者に対し、補助金を交付することで、創業時の経済的な負担を軽減した。		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ・創業塾修了者22名、企業家交流会参加者45名。 ・創業支援補助金を6件、1,165,000円交付した。	
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 総合計画においても起業・創業の支援が位置付けられていることから妥当である。		有効性の評価とその理由 A:有効である 起業・創業者の経済的負担の軽減、起業・創業に向けた機運の醸成に寄与しており、有効である。	
	「情報の共有」の状況とその理由 A:実現している 支援制度をウェブページやパンフレット等で周知している。		「参加」の状況とその理由 A:実現している 起業・創業を考えている人は、誰でも創業塾や交流会に参加できる。	
	「協働」の状況とその理由 A:実現している 創業塾及び起業家交流会について茂原商工会議所や市内金融機関等と連携するなど協働している。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 起業・創業希望者や創業者に対して、茂原商工会議所や市内金融機関等と連携のうえ各段階に応じた支援を実施し、地域の活性化に寄与した。			
	企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 創業塾修了者及び起業家交流会参加者数ともに増加しており、創業支援補助金の件数の増加もみられることから、一定の成果を挙げていると認めることができる。引き続き支援を実施することにより、地域の活性化及び雇用の確保を図るものとする。			
	政策調整会議での評価とその理由 (This cell is currently empty)			
庁議における方針 (This cell is currently empty)				

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・創業支援制度のPR。 ・茂原商工会議所と連携した新規創業者の支援。		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 ・補助金を活用した創業件数。	
	令和2年度における具体的な目標 ・新規創業者に対し、創業に係る経費の一部を補助。 ・起業・創業に関する実践的な知識の習得の場を提供。 ・同じ志を持つ仲間との情報交換の場やネットワークづくりの場を提供。		令和2年度における事務事業スケジュール ・新規創業者に対し、補助金を交付。 ・茂原商工会議所と連携して「茂原創業塾」及び「起業家交流会」を開催。	

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	02	02	02	中小企業者等振興総合支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	02	中小企業者等振興総合支援事業

実施計画整理番号	
502020202	
総合戦略整理番号	11202

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 企業が実施する主体的な取り組みを、幅広い分野で総合的に支援することにより、本市の中堅・中小企業の持続的な成長や振興を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 中小企業者等が抱える様々な問題解決のための取り組みに対して、補助金の交付により費用負担の軽減を図る。
PLAN (計画)	
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・中小企業者が取組む販路拡大、人材育成、インパウンドの推進などにおいて総合的な支援を行う。	・経営向上を目指した取組みを行う中小企業者に対し、補助金を交付する。 ・制度の周知を適宜行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,824	3,824	904	3,824	3,613	1,151	5,510	5,510	1,819	2,010	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	1,750	1,750	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,824	3,824	904	3,824	3,613	1,151	3,760	3,760	1,819	2,010	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	企画認証等の取得による企業価値向上支援	300	300	0	実績なし。ニーズにあわせ、補助金メニューを廃止。
②	商品開発や産業財産権の取得による競争力強化支援	450	426	0	実績なし。ニーズにあわせ、補助金メニューを廃止。
③	積極的な情報発信による販路拡大支援	900	900	422	販路拡大支援補助金を4件交付した。今後も継続していく。
④	人材確保や育成による生産性向上支援	200	224	224	人材確保・育成支援補助金を3件交付した。今後も継続していく。
⑤	外国人消費の取り込みによる売上向上支援	150	150	0	実績なし。ニーズにあわせ、補助金メニューを精査していく。
⑥	相談支援の充実のための研修会等への参加	7	7	0	実績なし。
⑦	企業間ビジネスマッチングの促進	3,500	3,500	1,170	業務委託後、水害及び新型コロナウイルス感染症の影響により中止。今後も継続していく。
⑧	工場見学保険料	3	3	3	工場見学参加者について傷害保険に加入した。今後も継続していく。
⑨					
⑩					
事業費計		5,510	5,510	1,819	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・経営向上を目指した取組みを行う中小企業者に対して補助金を交付した。 ・支援制度に関する相談等に対応した。

PLAN (計画)

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
5	02	02	02	中小企業者等振興総合支援事業	6	01	02	02	中小企業者等振興総合支援事業	502020202

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	中小企業者に対し補助金を交付することで、中小企業者の経済的な負担を軽減した。					・販路拡大支援補助金を4件、422,000円交付した。 ・人材確保・育成支援補助金を3件、224,000円交付した。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	茂原市の事業者数の多くを占める中小企業者の振興を支援することから妥当である。			A:有効である	茂原市の事業者数の多くを占める中小企業者を支援することにより地域の振興を図ることは有効である。		A:効率的である	中小企業者から求められている支援であることから効率的である。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	支援制度をウェブページやパンフレット等で周知している。			A:実現している	利用者の意見や実績により、補助対象事業を見直している。		A:実現している	茂原商工会議所等と連携するなどして、利用促進に向けて協働している。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	中小企業者の経営の向上、活性化に効果があったと思われるが、支援制度の中でも利用実績に差があり、中小企業者のニーズを把握したうえで支援メニューの検討を行う必要がある。								
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	中小企業者等の持続的な成長や振興に一定の成果はあったと認めることができる。今後は中小企業者のニーズを的確に把握し、支援メニューの検討に努めるとともに、効率的な周知方法についても検討されたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
(この欄は斜線が入ります)										
庁議における方針										
(この欄は斜線が入ります)										
A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・中小企業者のニーズに応じた総合的な支援の実施。					・補助金活用件数、金額。				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
・中小企業者が取組む販路拡大、人材確保・育成などについて総合的な支援。					・経営向上を目指した取組みを行う中小企業者に対し、補助金を交付。 ・制度の周知。					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	03	01	02	商業振興対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	商業振興対策事業

実施計画整理番号	
503010201	
総合戦略整理番号	12301

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計 画) 商店街の環境整備と活性化により、まちの活気と賑わいを創出する。	商店街が実施する活性化事業を支援するとともに、経済的負担の軽減を図る。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・各商店街等が実施する活性化事業を支援するとともに、経済的負担の軽減。	・茂原市の商業振興のため、各商店街の事業へ補助。 ・商業活性化のための研修会の実施。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,339	3,339	1,293	3,569	2,354	2,208	1,950	1,947	1,324	1,950	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,339	3,339	1,293	3,569	2,354	2,208	1,950	1,947	1,324	1,950	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	商店街共同販売促進事業の支援	400	400	381	商店会連合会及び3商店会等の地域活性化のための事業に対し、支援を行った。今後も継続していく。
②	商店街共同施設の維持管理支援	548	548	548	10商店会の街路灯の維持管理及び共同駐車場の借地代に対し、補助を行った。今後も継続していく。
③	空き店舗活用支援	895	895	295	商店街が行っている空き店舗補助2件に対し、補助を行った。今後も継続していく。
④	商工業経営研修の実施	107	104	100	商業従事者向けセミナーを開催した。今後も継続していく。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,950	1,947	1,324	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・各商店会等(駅前通り商店街振興組合、榎町商店街振興組合、サンシティ町保商店会、商店会連合会)主催のイベントに対し、補助対象経費の1/2を予算の範囲内で補助した。
- ・10商店会の街路灯の維持管理費及び商店街の共同駐車場に係る借地代を補助した。
- ・榎町商店街振興組合の借り上げた店舗(2件)の家賃に対し、補助対象経費の1/2を予算の範囲内で補助した。
- ・商業従事者を対象としたセミナーを開催した。

D O (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	503010201
5	03	01	02	商業振興対策事業	6	01	02	04	商業振興対策事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会等が行う地域活性化イベント、商店会等が実施する空き店舗対策事業を補助した。 ・共同施設の維持管理費への補助。 ・空き店舗を活用して事業活動を行う者への補助。 ・商店街活性化のための研修会の開催。 					<ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興共同事業補助金を4件、381,184円交付した。 ・商店街共同施設整備事業等補助金を3件、843,000円交付した。 ・商業従事者向けセミナーを開催した。 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	商店街は市民の憩いの場であり、また地域コミュニティとして重要な役割を担っているため、支援は妥当である。		A:有効である	商店数の減少が続いており、商店街を取り巻く環境が大きく変化しているが、活性化のための支援は有効である。		B:やや効率的である	地域に求められる商店街を維持するという観点から新たな手段を考えるなど、継続して実施していく必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	茂原市商店会連合会を通じて補助事業を行っている。		A:実現している	参加型イベント等の事業を行うなど市民参加を図っている。		A:実現している	茂原市商店会連合会と連携するなど協働している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	各商店会等のイベント開催を通じて地域経済の活性化に寄与した。また、商店街等の共同施設の維持管理により、安心安全な商店街を形成した。									
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本事業は、地域経済の活性化に一定の成果を挙げていると認めることができる。引き続き、商店街の環境整備とニーズの発掘に努めるとともに、協働の取組に努めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由										
(この欄は斜線が入ります)										
庁議における方針										
(この欄は斜線が入ります)										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・各商店会等のニーズに応じた支援。 					<ul style="list-style-type: none"> ・商店街への入込客数。 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・各商店会等が実施する活性化事業の支援及び経済的負担の軽減。 					<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市の商業振興のため、各商店会の事業を補助。 ・商業活性化のための研修会の実施。 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	01	商工団体支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	05	商工団体支援事業

実施計画整理番号	
504010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
商工業振興のための事業や小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業を通じ、中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	茂原商工会議所が実施する商工業振興のための事業及び小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業に対し補助金を交付する。県内商工団体に加盟し、指定団地の高度化、県内経済に関する情報収集、他団体との連携を図る。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
市内商工業活性化のため、商工会議所の商工振興事業、小規模事業者経営支援事業に対し補助金を交付。	茂原市の商工業、小規模事業者の振興のため、商工会議所の事業への補助。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	8,897	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	商工振興事業の支援	6,277	6,277	6,277	商工会議所が行う商工業振興事業の運営を補助し、商工振興を図った。今後も継続していく。
②	小規模事業所の支援	2,538	2,538	2,538	商工会議所が行う小規模事業者の支援を補助し、小規模事業者の振興を図った。今後も継続していく。
③	事業環境改善に向けた関係団体への加盟	82	82	82	関係団体の事業を通して、事業環境改善に努めた。今後も継続していく。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		8,897	8,897	8,897	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・商工会議所が行う商工業振興のための事業に対し、補助金を交付した。
- ・商工会議所が行う小規模事業者の経営又は技術の改善・発達のための事業に対し、補助金を交付した。
- ・関係団体(千葉県指定団地協議会・千葉県経済協議会)の事業に参加した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	504010101
5	04	01	01	商工団体支援事業	6	01	02	05	商工団体支援事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が行う商工業振興のための事業を支援した。 ・商工会議所が行う小規模事業者の経営又は改善・発達のための事業を支援した。 ・関係団体の事業を通して、事業環境改善に努めた。 					<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所事業補助金を6,277,000円交付した。 ・小規模事業経営支援事業費補助金を2,538,000円交付した。 ・千葉県指定団地協議会に12,000円、千葉県経済協議会に70,000円の負担金を 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のため茂原市の商工業、小規模事業者の振興を図ることは妥当である。 			A:有効である	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所は、会員数も1100名を超え、商工業の経営支援等の専門的な知識を有しており、支援は有効である。 		A:効率的である	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所は、会員数も1100名を超え、経営支援等の専門的な知識を有しており、支援は効率的である。 	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	補助金交付要綱をウェブページで公開している。			C:実現の余地がない	経営支援等の専門的な知識が必要なため、市民等の参加は図れない。		C:実現の余地がない	経営支援等の専門的な知識が必要なため、市民等と協働は図れない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	・商工会議所の事業を支援することにより、市内商工業者、小規模事業者の振興が図られている。								
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の予定どおりの補助金を交付していることから成果が認められる事業である。引き続き、市内商工業活性化のため、茂原商工会議所をはじめとする各種団体との連携を図り実施していくこととする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所の行う商工業振興事業に対し、商工会議所事業補助金を交付。 ・商工会議所の行う小規模事業者振興事業に対し、小規模事業経営支援事業費補助金を交付。 					<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所会員数 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・市内商工業活性化のため、商工会議所の商工振興事業、小規模事業経営支援事業に対し、補助金を交付。 					<ul style="list-style-type: none"> ・市内の商工業、小規模事業者の振興のため、商工会議所の事業を補助。 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	04	01	03	中小企業資金融資事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業

実施計画整理番号	
504010301	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	中小企業が事業に必要な資金を円滑に融資することで、中小企業の振興と経営の安定化を図る。	市内6行12支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し中小企業への資金融資を行う。 茂原市制度融資利用者及び㈱日本政策金融公庫小企業等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
中小企業者の振興を図るため、融資制度及び利子補給制度の周知に努める。	市内金融機関への貸付原資の預託を行う。 茂原市中小企業融資制度利用者へ利子補給を行う。 小規模事業者経営改善資金融資利用者への利子補給を行う。 預託金の返還	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	548,287	537,383	535,435	547,404	532,181	530,717	537,278	531,711	529,068	537,278	0	0
財 源 内 訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	515,000	515,000	515,000	515,000	515,000	515,000	515,000	515,000	515,000	0	0
	一般財源	千円	33,287	22,383	20,435	32,404	17,181	15,717	22,278	16,711	14,068	22,278	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	中小企業資金融資に伴う金融機関預託金	515,000	515,000	515,000	金融機関へ融資の原資を預託し、中小企業者への融資を行うことで、中小企業者の経営の安定と振興を図った。今後も継続していく。
②	中小企業融資利用者に対する利子補給	15,946	10,379	10,039	利子補給を行うことで、中小企業者の経営の安定と振興を図った。今後も継続していく。
③	小規模企業等経営改善資金融資利用者に対する利子補給	6,332	6,332	4,029	マル経融資利用者に対し、利子補給を行い、小規模事業者の経営の安定と振興を図った。今後も継続していく。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		537,278	531,711	529,068	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業融資の原資として、市内金融機関へ預託金を預け入れた。 茂原市中小企業融資制度利用者に対して、利子補給を行った。 商工会議所を通じて融資される日本政策金融公庫のマル経融資に対し、利子補給を行った。

D
O
(
実
施
)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	504010301
5	04	01	03	中小企業資金融資事業	6	01	02	01	中小企業資金融資事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関へ融資の原資、500,000,000円を預託した。 中小企業融資利用者補助金を総額10,039,469円支給した。 小規模事業者経営改善資金融資利用者補助金を総額4,028,600円支給した。 					<ul style="list-style-type: none"> 制度融資の新規利用者数 71件、509,250,000円。 制度融資の利子補給件数 314件。 マル経融資の利子補給件数 168件。 					
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	中小企業の振興は、茂原市の経済の活性化において重要であり、資金面で支援していくことは妥当である。			A:有効である	大企業と比較して、資金調達が困難である中小企業に対し、資金面で支援することは有効である。			A:効率的である	市内金融機関等が行っている融資に対する支援であり、効率的である。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	融資制度や利子補給制度について、ウェブページやパンフレット等で周知している。			C:実現の余地がない	融資に関することであり、市民等の参加は図れない。			C:実現の余地がない	融資に関することであり、市民等と協働は図れない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	中小企業者等の安定した資金調達及び利子補給により、中小企業者等の経営の安定と振興を図った。										
企画政策課での評価とその理由											
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	融資制度の利用者数も増加傾向にあることから一定の成果が挙げられていると認められる。引き続き、制度の周知を図ることで中小企業の振興と経営の安定化に努めていただきたい。										
政策調整会議での評価とその理由											
(Blank)											
庁議における方針											
(Blank)											

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関への預託、中小企業融資制度利用者及び小規模事業者経営改善資金融資利用者への利子補給。 					<ul style="list-style-type: none"> 中小企業融資制度利用者数。 制度融資及びマル経融資の利子補給件数。 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業者の振興を図るため、融資制度及び利子補給制度の周知。 					<ul style="list-style-type: none"> 金融機関へ融資の原資を預託。 茂原市中小企業融資制度利用者への利子補給の実施。 小規模事業者経営改善資金融資利用者への利子補給の実施。 預託金の返還 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	05	02	01	観光振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業

実施計画整理番号	
505020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 観光イベントの充実と広域連携による観光資源の整備により、まちの魅力を向上させるとともに効果的に情報発信することで、年間を通じ本市を訪れる観光客の増加を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会への補助金の交付。 ・観光ガイドブックや観光大使の活用によるまちの魅力発信。 ・各種関連団体への負担金の拠出
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・茂原市観光協会、七夕まつり実行委員会、秋まつり運営協議会などの各団体にに対し、補助金を交付し、運営を支援する。 ・長生地域観光連盟、中房総観光推進ネットワーク協議会と連携し、各種PRイベントを開催する。 ・メディアを活用した情報発信に努める。	・茂原桜まつり(4月)、茂原七夕まつり(7月)、茂原秋まつり(9月)、もばら冬の七夕まつり(2月)、三井アウトレットパーク木更津観光PRイベント(10月、3月)、ぐるっと長生フェスタ2020(3月)、中房総観光推進キャンペーン(6月、2月)、幕張メッセ観光PRイベント(6月)、市原サービスエリア交通安全キャンペーンイベント(7月)等の実施をする。また、各イベント委員会や担当者会議を定期的に開催する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	17,461	18,164	18,065	17,461	18,628	18,483	18,441	18,441	18,332	18,441	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	110	110	110	110	24	19	24	24	18	24	0	0
	一般財源	17,351	18,054	17,955	17,351	18,604	18,464	18,417	18,417	18,314	18,417	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市観光協会の支援	2,756	2,756	2,756	桜まつりの開催や観光ガイドブックの増刷等を実施した。今後も継続して支援する。
②	茂原七夕まつりの開催支援	11,000	11,000	11,000	関東屈指の夏まつりとして多くの来場者で賑わった。今後も継続して支援していく。
③	もばら冬の七夕まつりの開催支援	3,500	3,500	3,500	冬の七夕まつりは、冬のイベントとして定着しつつあり、今後も継続して支援していく。
④	茂原秋まつりの支援	600	600	600	秋のイベントとして定着しており、近年は市外からの来客数も増加していることから、今後も継続して支援していく。
⑤	地域間連携の推進	345	345	326	長生地域観光連盟や中房総観光推進ネットワーク協議会と今後も継続して広域的な連携を図る。
⑥	観光大使によるPR活動	240	240	150	テレビやラジオ番組などのメディアを活用し、今後も継続して本市のPR活動に努める。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		18,441	18,441	18,332	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・幕張メッセで開催された「県民の日ちばワクワクフェスタ2019」において、七夕飾りの大型展示、もばら阿波おどりの披露など、七夕まつりのPRに努めた。
- ・七夕まつり等イベント前には、海ほたるPAや三井アウトレットパーク木更津においてパンフレットの配布、パネルの展示等を行い、周知に努めた。
- ・観光ガイドブックを、海ほたるPA、三井アウトレットパーク木更津(チーバくんプラザ)、今年度は新たに酒々井プレミアムアウトレットに配架するなど、効果的に本市の情報発信を行った。
- ・桜まつりにおいて、ボンポリオーナーの募集や茂原でしか入手できないオリジナル菜(菜に桜の花びらをラミネート加工した)の配布を実施した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				予算科目				整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名				505020101
5	05	02	01	観光振興事業				
款	項	目	事	事業名				
6	01	03	01	観光振興事業				

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドブック(観光編・グルメ編)を、多くの外国人観光客で賑わう酒々井プレミアムアウトレットに新たに配架した。 ・メディアの活用については、テレビ番組、ラジオ番組、観光協会及び市のウェブページやフェイスブックを活用し、本市の魅力の発信をした。 ・観光大使については、七夕まつり等合計5回出演した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数(延べ人数) 1,340,016人 ・茂原桜まつり 来場者数 140,000人 ・第65回茂原七夕まつり 来場者数 820,000人 ・第6回もばら冬の七夕まつり 来場者数 6,500人 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	観光事業は、交流人口の増加や地域経済の活性化に繋がり、妥当である。	A:有効である	茂原公園の桜や七夕まつりは、重要な観光資源であり、支援することは、有効である。	A:効率的である	観光協会や七夕まつり実行委員会等に対する補助であり、補助要綱に基づき効率的に実施できている。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	観光協会、実行委員会、市のウェブページやSNS、各種ポスター、パンフレットなどの掲示や配布などにより、情報発信を行った。	A:実現している	観光協会や実行委員会等が主体となり、会員等の意見により事業を進めている。	A:実現している	各イベントにおいて市民参加できる取り組みを行い、市民の意見を聞きながら、改善をしている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	「茂原桜まつり」、「茂原七夕まつり」などの観光資源を有効活用し、観光客の来訪を促し、地域経済の活性を図れた。今後も四季を通しておもてなしできる更なる観光資源のブラッシュアップを図る必要がある。					
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種イベントの支援及び情報発信により、まちの魅力向上に寄与したものと認められる。引き続き、本市の魅力発信に努め、観光客の増加を図ることとする。					
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント参加回数 ・観光パンフレット配布数 ・各種メディア掲載件数 ・観光大使出演回数 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市観光協会、七夕まつり実行委員会、秋まつり運営協議会などの各団体に補助金を交付し、運営を支援。 ・長生地域観光連盟、中房総観光推進ネットワーク協議会と観光PRイベントを開催するなどの広域的な連携の推進。 ・メディアを活用した情報発信。 		茂原桜まつり(4月)、茂原七夕まつり(7月)、茂原秋まつり(9月)、もばら冬の七夕まつり(2月)、三井アウトレットパーク木更津観光PRイベント(10月、3月)、ぐるっと長生フェスタ2021(3月)、中房総観光推進キャンペーン(6月、2月)、幕張メッセ観光PRイベント(6月)、市原サービスイリア交通安全キャンペーンイベント(7月)等を実施。また、各イベント委員会や担当者会議を定期的開催。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	07	01	02	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

実施計画整理番号	
507010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
労働者に対する福祉事業の支援と厚生資金の円滑な融資により、豊かでゆとりある生活の実現を目指す。	・労働者のための各種福祉対策事業を実施している長生茂原地区労働者福祉協議会に、補助金を交付する。 ・中央労働金庫茂原支店に融資の原資を預託し、低金利で厚生資金を円滑に融資させる。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・労働者の福祉の充実を図るため、中央労働金庫へ預託することにより生活資金の融資を行う。 ・長生茂原地区労働者福祉協議会活動を支援する。	・中央労働金庫に厚生資金融資の原資の預託及び償還。 ・長生茂原地区労働者福祉協議会活動への支援。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	10,148	10,148	10,148	10,148	10,148	10,148	10,148	10,148	10,148	10,148	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	0
	一般財源	千円	148	148	148	148	148	148	148	148	148	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	長生茂原地区労働者福祉協議会の支援	148	148	148	労働者の福祉事業を通じて、労働者の余暇の活用・生活の充実を図り、また、労働者相互の親睦融和を図った。今後も継続していく。
②	厚生資金融資のための金融機関預託金	10,000	10,000	10,000	中央労働金庫への預託により、低金利で生活資金融資を行い、労働者の福祉の充実を図った。今後も継続していく。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		10,148	10,148	10,148	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・長生茂原地区労働者福祉協議会が労働者の福祉増進の為に実施する福祉対策事業に補助金を交付した。 ・中央労働金庫茂原支店へ茂原市労働者厚生資金の貸付原資となる資金を預託した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
5	07	01	02	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

整理番号
507010201

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・長生茂原地区労働者福祉協議会へ補助金を148,000円交付した。 ・中央労働金庫へ融資の原資、10,000,000円を預託した。	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ・福祉事業への参加者数 延べ87人。 ・厚生資金融資の利用件数 907件。
---	--

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	低金利で勤労者に融資をするために預託金を預け、労働者間の活動を支援することは妥当である。	A:有効である	勤労者相互の親睦を深め、生活資金を融資することで勤労者福祉の充実を図っており、有効である。	A:効率的である	融資の原資としての預託金であり、効率的に活用されている。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	中央労働金庫茂原支店を通じて融資制度を周知している。	A:実現している	長生茂原地区労働者福祉協議会の活動支援をしており、幅広く労働者が参加している。	C:実現の余地がない	労政対策については、市民等との協働を図るのは困難である。

A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	所管による評価とその理由、課題・問題点 勤労者の福祉事業(レクリエーション等)を通じて、勤労者の余暇の活用、生活の充実が図られ、勤労者相互の親睦が深まった。さらに、中央労働金庫への預託金による融資を通じて、勤労者への生活資金の融通が図られている。
-----------------------------	--

A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	企画政策課での評価とその理由 勤労者に対する福祉事業の支援に一定の成果があったと認めることができる。引き続き、勤労者の生活の充実に向けての支援に努めるものとする。
-----------------------------	--

	政策調整会議での評価とその理由
--	-----------------

	庁議における方針
--	----------

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・補助金額。 ・預託金額。	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 ・補助対象事業への参加者数。 ・融資制度の利用人数。
---	---

令和2年度における具体的な目標 ・勤労者の福祉の充実を図るため、中央労働金庫へ厚生資金融資の原資を預託。 ・長生茂原地区労働者福祉協議会の活動を支援。	令和2年度における事務事業スケジュール ・中央労働金庫に厚生資金融資の原資の預託及び償還。 ・長生茂原地区労働者福祉協議会の活動を支援。
--	---

CHECK (評価)

ACT (改善)